

エコけん ニュース

No. 88 2006. 11

連絡先 NPO法人エコけん事務局

FAX 092-944-3012 (火～土 9:00～17:00)

e-mail eco_ecoken@ybb.ne.jp

発行責任者 清水佳香

http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/

10月活動報告



10月のエコけんは、連携教室や出前教室が目白押しでした。体験活動を伴う出前は準備や当日の荷物がたくさんで、なかなか大変ですが、なるべく楽にかつ効果が高くなるようにするための話し合いを何回も繰り返しました。実際にやってみる機会の中でこそ、新しい発想が生まれたり、洗練されていくものだなあと思いました。

エコロの森も、学校が文化祭やフェスタの月ということもあり、機器貸し出し等なにかとにぎやかでした。先生に学校での活動のネタ探しに利用してるといっていただいたのも、うれしかったことのひとつです。

みなさんのエコロの森ステーションへのご来館お待ちしております。

日	自主事業	受託事業 (エコステ活動)
4	省エネルギー普及指導員研修会参加	
8		エコまつり
10		エコ環境教室(任意団体) ボラ会(エコエコクッキング)
11	出前講座(北九州曾根東小5年生) 省エネルギー普及指導員研修会参加	エコエコクッキング
12		エコ環境教室(行政) ボラ会(エコロ講座)
13	連携教室(古賀東小5年生)	ボラ会(エコロ講座)
14	広報講習会参加	展示品等貸出(高校)
17		エコ環境教室(小学校)
18	ボランティア育成会議	エコ講座
19	ニュースレター18号配信	交流会
21		IJO環境教室(高校) ビギボラ会 商品開発活動 展示品等貸出(高校)
23	定例会	教室会議 ボラ育成会議 展示会議 全体運営会議
24	出前講座(花見小5年生)	ボラ会(エコエコクッキング:託児あり)
25	連携教室(青柳小5年生)	エコエコクッキング ボラ会(エコロ講座)
26		リメイク教室(ジーンズコーサージュ:託児あり) エコ環境教室(任意団体)
27	出前講座(花見小5年生)	交流会
28		廃材アート(小枝で作る動物たち) かえっこショップ IJO環境教室(小学校)
31	エコけんニュース87号発行	ほっとちゃっと41号発行



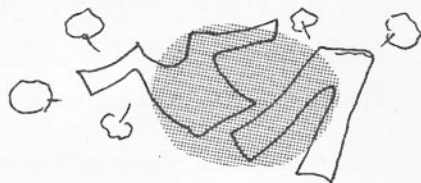
高校生もまじめに話を聞いてくれましたヨ

エコロなあったか冬支度(II)

朝夕の冷え込みに足元も冷たくなってきました。寒い季節の下半身の寒さは、女性にとっての大敵。と言っても、着ぶくれするほど厚着はしたくない。そこで、ここ2、3年パンスト地のインナーを愛用していましたが、素材の力なんて考えたことがありませんでした。



そこへ通販雑誌や生協のちらしから、目新しい言葉が目に残りました。“ブレスサーモ”“サーモメイク”“ホットマジック”“マイクロシェイパー”などメーカーの呼び名は違うもののインナーが進化してるようなのです。これらのインナーは、身体から自然に出る湿気を吸収して熱に変える発熱素材とのこと。



(株)ミズノによると

体内から出る汗や水分を繊維がすばやく吸収し、その際の吸着熱によりウールの約3倍以上の発熱量（原綿レベル）で衣服内の温度を約2℃上昇させる。（ミズノ測定値）

吸湿・速乾・消臭効果を備え、肌に優しく、静電気の発生を抑制する機能がある。また、これらの効果は、洗濯を重ねても持続する。

ベーシックタイプと比べて、ストレッチタイプは、縦に約10%・横に約50%の伸縮性アップで身体にぴったりフィットし、太っている私には着ぶくれの心配がないので嬉しい商品です。

商品はタンクトップ・半袖・長袖インナーの他に5分丈・ロングパンツなどもあります。もちろん男性用アンダーウェアもあるようです。



今年の冬は、「暖ったか着やせ!？」で冬を乗り切り「ウォームビズ」で過ごしてみませんか！

間伐と割り箸



お買い物にはマイバック利用が当たり前になっているのに、外出時のマイ箸となると、実は一度も実行したことはありませんでした。それは、①携帯用のお箸を持っていないこと ②割り箸は日本の文化だという話しや、森林保護に一役買っているという話を聞いたことがあること ③外食にはハシの気分を味わいたいこと、などなど言い訳はいろいろありますが、一番の理由は、割り箸の現状を知らなかったからだと思います。

調べてわかったこと



- ・90%以上は、中国からの輸入品。中国の森林は国土の約2割（日本は約7割）
- ・割り箸の利用が急増したのは、高度成長期以降（200膳/年・人）
- ・森林の保全には間伐が欠かせない。森林資源の循環が成り立っていた頃生産された割り箸は、間伐材の端材を利用。

ちょっとした聞きかじりで思いこむのは怖いものだと反省しました。

そういえば、10数年前家を建てる時、山から木を切り出すところからさせてもらったのですが、必要な本数、一気にまとめて同じ場所で切り倒すのかと思いきや、まず山中歩き回ってこれがどこの柱の分、とマーキングしながら、間引く形で切る木を決めていきます。そうすると残された木はさらに大きくなり、別の機会まで成長しながら森を守るのだそうです。つまりこれが間伐ですね。森林の保全には植林と共にこの間伐が欠かせないそうです。かつて、間伐された木は、適切に余すところ無く利用され、その一部が割り箸への利用だったんですね。森は長い時間と手間をかけて守り育てるものなんだ、ということを改めて思い出しました。



間伐は森を守る!!



これから外食する時は、国産と記された割り箸が出された場合はありがたく使わせてもらい、そうでないときは持参のお箸を使ってみようと思っています。

ちょっとお箸に目がいくこの頃です。

エコ講座 「行く班」報告

エコロの森ステーションで毎月（年10回）開催されているエコロ講座は、地球環境の現状を知り私たちにできることを共に考え実践していくための講座です。今年度は、参加者が自分の興味のある班（行く班・調べる班・イベント班）に分かれ、それぞれ企画・運営することになりました。

10月は、「行く班」企画の東区清掃工場クリーンパーク臨海の工場見学でした。担当の4人で行き先や日時の決定から予約、現地見など打ち合わせをかさね当日をむかえました。飛び入りの男性もいて参加者は14名。工場とリサイクルプラザを見学し、紙すきや裂き織りの体験もできました。エコステとの違いや生かせそうなヒントをもらったり有意義な時間でした。参加者の交流もすすみ、アンケート結果も好評でした。



▲説明を聞く参加者

計画、実行していく上でいろいろ反省点もありますが、参加者が企画実行の実践者となれる良い機会だとおもいました。

エコロ講座は、託児もあります。みなさんもぜひ1度参加してみませんか。12月は、5日（火）10:30～12:00です。



まなび つどい つなぐ
エコロの森 再生・展示棟
ecolo no mori station

◆◆◆ 古賀清掃工場 再生・展示棟 ◆◆◆

☎ 811-3121 古賀市筵内1970-1 ☎ 話 092-942-1530 内線 (701)

☎ FAX 092-942-1532 ✉ X-ℓ ecosta@ecolo-no-mori.com

～事務局より～

- ❖ 11月12日（日）まつり古賀に「火起こし体験」と「展示」で参加しました。
- ❖ 12月19日（土）古賀市ほたるの会の「自然環境教室」が開催されます。エコくんも後援させていただきます。くわしくは、事務局へお問い合わせください。